

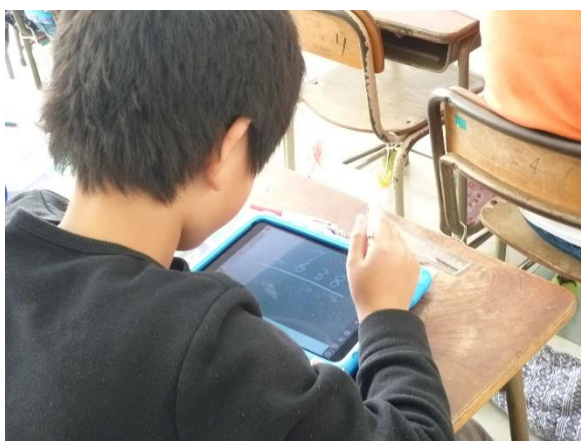
<テーマ>児童が ICT 機器を操作し、意見を発表した取組（大河原町立大河原南小学校）

<実践例>全学年

○自分の意見を発表する際に、タブレット PC や書画カメラを用いた発表に取り組んでいる。

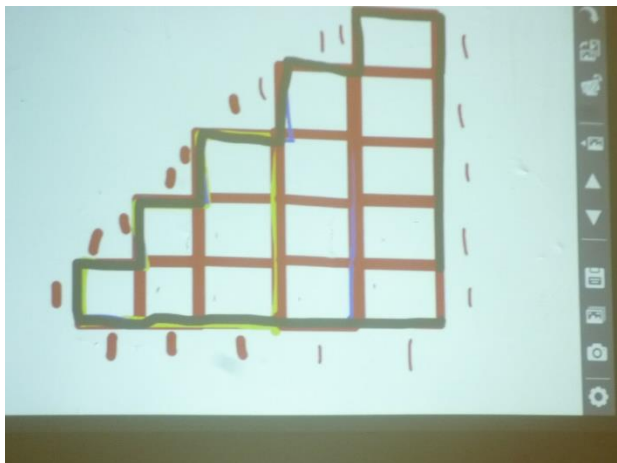
○特にタブレット PC は、見せたい部分を児童が拡大したり、アンダーラインを引いたりするなど、児童が自分自身で操作しながら発表できるように指導している。

OMIYAGI Style を意識し、教員がいつでもタブレット PC を活用した授業に取り組めるよう、職員室にタブレット PC 置き場を設置し、常に充電している。



↑ 4年「小数のかけ算」

筆算の仕方をタブレット PC に書き込んでいる。  
この後、スクリーンに投影し、自分の席で発表した。



↑ 4年生「変わり方調べ」

自分の考えをタブレット PC に描き、スクリーンに投影して説明した。

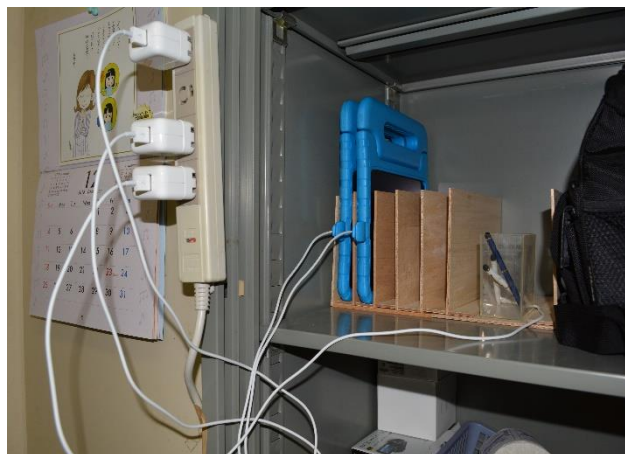
(児童の反応)

- ・タブレット PC や書画カメラを活用する事で、「説明したい」という意欲が高まり、互いの考えを共有することができた。
- ・視覚に訴える授業になったことで、学習に苦手意識を感じている児童も「聞いてみたい」という関心をもち、授業の内容を理解しようとしていた。
- ・発表のため前に児童が出てくる時間や黒板に書く時間が短縮され、学び合いの時間が充実した。



↑ 3年「大きい数の計算を考えよう」

書画カメラで写したノートをテレビに投影し、発表した。



↑ 職員室にタブレット PC 保管場所を設置し、授業で使う際にはここから持ち出して使用する。